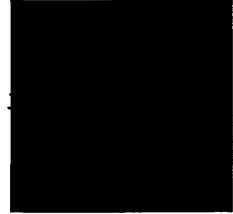


(様式第9)

9京医管第136号
平成19年10月5日

厚生労働大臣 舩 添 要 一 様

京都府知事 山 田 啓



京都府立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	200人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成19年10月1日現在)

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	206人	193人	392.9人	看護業務補助者	46人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	7人	11.7人	理学療法士	10人	臨床検査技師 衛生検査技師 その他	43人
薬 剤 師	30人	3人	31.8人	作業療法士	6人		0人
保 健 師	人	人	人	視能訓練士	6人		0人
助 産 師	人	人	人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	686人	26人	703.4人	臨床工学技士	3人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	6人	1人	6.7人	栄 養 士	0人	その他の技術員	2人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	62人
管理栄養士	6人	2人	7.6人	診療放射線技師	34人	その他の職員	84人

(注) 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	694.7人	2.2人	696.9人
1日当たり平均外来患者数	1,890.3人	113.2人	2,003.5人
1日当たり平均調剤数	1,562.5剤		

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・骨髓細胞移植による血管新生療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	5人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	<input checked="" type="radio"/> ・無	1人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケージングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
超音波骨折治療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/>	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/>	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	25人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	0人
・多発性硬化症	2人	・ウェゲナー肉芽腫症	16人
・重症筋無力症	16人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	0人
・全身性エリテマトーデス	245人	・多系統萎縮症	0人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	5人	・膿疱性乾癬	0人
・サルコイドーシス	65人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・筋萎縮性側索硬化症	1人	・原発性胆汁性肝硬変	50人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	53人	・重症急性膵炎	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	11人	・特発性大腿骨頭壊死症	7人
・結節性動脈周囲炎	6人	・混合性結合組織病	23人
・潰瘍性大腸炎	12人	・原発性免疫不全症候群	0人
・大動脈炎症候群	2人	・特発性間質性肺炎	1人
・ビュルガー病	0人	・網膜色素変性症	15人
・天疱瘡	1人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	4人	・原発性肺高血圧症	1人
・クローン病	6人	・神経線維腫症	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	3人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	0人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	7人	・ラインゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	0人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヵ月に1回程度	
剖検の状況	剖検症例数 ≥6 例	剖検率 10.2 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

診療科名 血液・腫瘍内科

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
成人 T 細胞白血病 (ATL) をモデルとしたウイルス感染関連がんに対する革新的治療法の開発	谷脇 雅史	血液・腫瘍内科	500,000 円	補 国立病院機構九州がんセンター委
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発に関する研究	谷脇 雅史	血液・腫瘍内科	1,400,000 円	補 名古屋大学医学部附属病院委
ATL 発症機序の解明と発症前診断及び治療法の開発	谷脇 雅史	血液・腫瘍内科	1,500,000 円	補 財団法人宮崎県産業支援財団委
アミロイドーシスに関する調査研究	島崎 千尋	血液・腫瘍内科	900,000 円	補 金沢大学委
発熱性好中球減少に対する抗生剤の至適投与の研究	野村 憲一	血液・腫瘍内科	2,000,000 円	補 臨床薬理研究財団委
慢性骨髄性白血病の幹細胞ニッチにおける分子標的治療に対するアポトーシス抵抗性メカニズムの解明と治療戦略の開発の研究	黒田 純也	血液・腫瘍内科	1,500,000 円	補 公益信託原口記念癌研究助成基金委
造血器悪性腫瘍における BH3-only protein プロファイリングの化学療法反応性マーカーとしての応用研究	黒田 純也	血液・腫瘍内科	900,000 円	補 黒住医学研究振興財団委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

診療科名 心臓血管外科

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
術後冠状動脈造影に基づいたバイパスグラフトの選択と使用方法に関するガイドライン作成のための日米多施設共同研究	夜久 均	心臓血管外科	600,000 円	補 厚生労働省科 研費（循環器病研 究） 委
虚血性心疾患の手術死亡率および合併症発生率改善のための多施設共同研究	夜久 均	心臓血管外科	200,000 円	補 厚生労働省科 研費（循環器病研 究） 委
Hybird polymer を用いた tissue engineering による再生血管、動脈弁の開発と応用	宮崎 隆子	心臓血管外科	2,000,000 円	補 循環器学研究 振興財団 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

診療科名 産科・婦人科

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
子宮内膜症の腹水プロテオーム	北脇 城	産科	1,000,000円	補 赤枝医学研究財団

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

診療科名 小児科

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
血清 DNA を用いた神経芽腫 DCR2 遺伝子のメチレーションの検出とその臨床的意義.	杉本 徹	小児科	6,800 千円	補 文部科学省委
進行神経芽腫に対する標準的治療確立および新規治療開発のための研究	杉本 徹	小児科	2,500 千円	補 厚生労働科学研究費（がん臨床研究事業）
登録症例に基づく神経芽細胞腫マス・スクリーニングの効果判定と医療体制の確立	杉本 徹	小児科	1,000 千円	補 厚生労働省科学研究費（子ども家庭総合研究事業）
神経芽腫担癌患児の血中遊離 DNA を用いた細胞遺伝学的悪性度推定法の開発	細井 創	小児科	800 千円	補 文部科学省委
小児横筋肉腫に対する中央病理診断および遺伝子診断にもとづく臨床試験の確立と新規治療開発に関する研究	細井 創	小児科	1,800 千円	補 厚生労働省厚生労働科学がん研究費補助金
小児がん患者への細胞分子生物学を応用した適性な診断・治療法普及のための研究	細井 創	小児科	700 千円	補 がんの子供を守る会小児がん治療研究助成金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
家族性血球貪食性リンパ組織球症におけるパーフォリン異常の解析	上田育代	小児科	2,000 千円	補 文部科学省 委
横紋筋肉腫細胞におけるId gene familyによる筋分化抑制機構の検討	土屋邦彦	小児科	700 千円	補 文部科学省 委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

診療科名 眼科

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
角膜上皮細胞の特異分化に関わる遺伝子発現制御、特に特異的転写因子の解明	木下 茂	眼科	10,400,000 円	文部科学省基盤研究B
Stevens-Johnson 症候群の発症機序と病態に関する解析	外園 千恵	眼科	7,500,000 円	文部科学省基盤研究B
培養線維柱帯細胞移植による緑内障治療法の開発	森 和彦	眼科	2,000,000 円	文部科学省萌芽研究
羊膜上培養粘膜上皮移植後における神経再生と眼表面の組織再構築の解明	稲富 勉	眼科	1,800,000 円	文部科学省基盤研究C
角膜上皮幹細胞ニッシエとしての細胞外マトリックス・テネシンの機能解析	松田 彰	眼科	1,800,000 円	文部科学省基盤研究C
眼表面上皮stemセルの維持に関する、NGF シグナルと p63 発現の生理的意義	川崎 諭	眼科	1,300,000 円	文部科学省若手研究B
粘膜上皮固有の免疫機構の存在とその破綻による眼表面炎症発症機序の解明	上田 真由美	眼科	1,900,000 円	文部科学省萌芽研究
角膜酸素分圧の環境による変動についての検討	中村 葉	眼科	2,100,000 円	文部科学省若手研究B
オプチニューリン遺伝子発現調節と緑内障発症における機能的役割の解析	池田 陽子	眼科	1,300,000 円	文部科学省若手スタートアップ
糖尿病性皮膚潰瘍の新しい治療法	丸山 和一	眼科	1,300,000 円	文部科学省若手スタートアップ
重症多形滲出性紅斑に対する眼科的治療法の確立	木下 茂	眼科	23,940,000 円	厚生労働省厚生労働科学研究費補助金 感覚器障害研究事業
難治性眼表面疾患に対する培養粘膜上皮幹細胞シート移植術の開発に関する研究	木下 茂	眼科	22,470,000 円	厚生労働省厚生労働科学研究費補助金 ヒトゲノム・再生医療等研究事業
ヒト体性および胚性幹細胞を利用した人工角膜の作成	木下 茂	眼科	12,590,000 円	文部科学省RR21トランスレーショナル研究委託費
難治性皮膚疾患（重症多形滲出性紅斑（急性期）を含む）の画期的治療法に関する研究	木下 茂	眼科	1,000,000 円	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
重篤な皮膚有害事象の診断・治療と遺伝子マーカーに関する研究	木下 茂	眼科	1,000,000 円	厚生労働省科学研究費補助金 萌芽的先端医療技術推進研究事業

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

診療科名 泌尿器科

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規超音波遺伝子導入法を用いた再燃前立腺癌に対する分子標的遺伝子治療の開発	水谷陽一	泌尿器科	7,600,000円	⑨ 文部科学省科学研究費補助金委
細径経直腸的超音波探触子を用いたリアルタイム排尿動態解析システムの開発	沖原宏治	泌尿器科	800,000円	⑨ 文部科学省科学研究費補助金委
陰茎海綿体平滑筋細胞を用いた海綿体再生による難治性勃起障害治療法の開発	邵 仁哲	泌尿器科	2,300,000円	⑨ 文部科学省科学研究費補助金委
難治性精巣腫瘍のシスプラチンに抵抗性を示す遺伝子の検討	野本剛史	泌尿器科	200,000円	⑨ 文部科学省科学研究費補助金委
DNA修復遺伝子欠損細胞を用いたDNA損傷抗癌剤感受性の網羅的検討とその臨床応用	三木恒治	泌尿器科	1,100,000円	⑨ 文部科学省科学研究費補助金委
ムスカリン受容体ノックアウトマウスの排尿障害とその代償機構の分子生物学的解析	水谷陽一	泌尿器科	2,000,000円	⑨ 文部科学省科学研究費補助金委
TRAIL誘導性アポトーシスを増強する薬剤の探索と再燃前立腺癌治療への応用	白石 匠	泌尿器科	1,000,000円	⑨ 文部科学省科学研究費補助金委
経膀胱的腹腔鏡手術の開発とその応用	河内明宏	泌尿器科	500,000円	⑨ (財)内視鏡医学研究財団委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

診療科名

歯科

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元 (該当に○印の上、補助・委託元名を記入のこと)
羊膜を基質とした培養口腔粘膜上皮シートの臨床応用	金村成智、 雨宮 傑、 山本俊郎	歯科	1,100,000 円	補 日本学術振興 会科学研究費補助 金 基盤研究 (C) 委
メカニカルストレスに対する歯根膜由来細胞の免疫学的検討	山本俊郎	歯科	800,000 円	補 日本学術振興 会科学研究費補助 金 若手研究 (B) 委
慢性根尖性歯周炎における自律神経系・知覚神経系の関与について	若森めぐみ	歯科	1,400,000 円	補 日本学術振興 会科学研究費補助 金 若手研究 (B) 委
酸化ストレス関連蛋白チップ作製と歯周病バイオマーカーとしての有用性に関する検討	金村成智	歯科	600,000 円	補 京都市健康づ くり研究等助成金 委
歯科口腔疾患（歯周病）の予防のための知識普及および実施事業	雨宮 傑	歯科	300,000 円	補 京都市健康づ くり研究等助成金 委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

診療科名 神経内科

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
NeuroAIDSの発症病態と治療法の開発を目指した長期フォローアップ体制の構築	中川 正法	神経内科	10,000,000円	① 厚生労働科学研究（エイズ対策研究事業） 委
難治性ニューロパチー研究班	中川 正法	神経内科	750,000円	補 ① 厚生労働省精神神経疾患研究
神経変性疾患に関する調査研究班	中川 正法	神経内科	1,000,000円	① 厚生労働科学研究（難治性疾患克服研究事業） 委
重金属等の健康影響に関する総合研究—水俣病発生地域住民の健康問題に関する研究班	中川 正法	神経内科	2,000,000円	補 ① 環境省
老化とその要因に関する長期縦断的疫学研究	中川 正法	神経内科	1,000,000円	① 厚生労働科学研究（長寿科学総合研究事業） 委
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	中川 正法	神経内科	700,000円	① 厚生労働科学研究（難治性疾患克服研究事業） 委

大脳皮質基底核系のアクション・認知機能における動機づけの役割	中川 正法	神経内科	5,000,000 円	(補) 文部科学省特定領域研究 委
粥状硬化性機序による難治性脳梗塞の診断・治療・予防に関する研究	永金 義成	神経内科	500,000 円	補 (委) 厚生労働省平成 18 年度循環器病研究

本院計 62 件

(様式第12)

2 論文発表等の実績

診療科名 内分泌・糖尿病・代謝内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Clin Biochem Nutr 38, March, 2006	Advanced glycation endproducts acts as an initiator of skin tumors in mice	Ogata M, Hasegawa G, Nakamura N	内分泌・糖尿病・代謝内科
Diabetes Res Clin Pract 73 (1), July, 2006	Low serum dehydroepiandrosterone sulfate concentration is a predictor for deterioration of urinary albumin excretion in male patients with type 2 diabetes	Fukui M, Hasegawa G, Yoshikawa T, Nakamura N	内分泌・糖尿病・代謝内科
Nephrol Dial Transplant 21 (7), July, 2006	Integrin-linked kinase acts as a pro-survival factor against high glucose-associated osmotic stress in human mesangial cells	Ohnishi M, Hasegawa G, Fukui M, Nakamura N	内分泌・糖尿病・代謝内科
Clin Chim Acta 374 (1 - 2), December, 2006	Relationship between insulin resistance and inflammatory markers and anti-inflammatory effect of losartan in patients with type 2 diabetes and hypertension	Park H, Hasegawa G, Fukui M, Nakamura N	内分泌・糖尿病・代謝内科
Redox Rep 11 (5), December, 2006	Differential regulation of intracellular redox state by extracellular matrix proteins in glomerular mesangial cells: potential role in diabetic nephropathy	Nakajima T, Hasegawa G, Fukui M, Nakamura N	内分泌・糖尿病・代謝内科
Clin Immunol 122, February, 2007	Relationship of serum brain-derived neurotrophic factor level with other markers of disease severity in patients with atopic dermatitis	Namura K, Hasegawa G, Fukui M, Nakamura N	内分泌・糖尿病・代謝内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Leukemia. 20:172-173, 2006.	Rituximab is effective for sclerodermatous chronic graft-versus-host disease.	Okamoto M	血液・腫瘍内科
Cytotherapy. 8:509-516, 2006.	Expression and role of MHC class I-related chain in myeloma cells	Okamoto M	血液・腫瘍内科
Int J Hematol. 84:90-91, 2006.	Dexamethasone reduces the risk of bortezomib-induced pulmonary complications in Japanese myeloma patients.	Shimazaki C	血液・腫瘍内科
Leukemia Lymphoma. 47:1170-1172, 2006.	Small cell variant type of T-prolymphocytic leukemia with a four-year indolent course preceding acute exacerbation.	Shimizu D	血液・腫瘍内科
Int J Hematol. 84:343-345, 2006.	Hyperbaric oxygen in addition to antibiotic therapy is effective for bisphosphonate-induced osteonecrosis of the jaw in a patient with multiple myeloma.	Shimura K	血液・腫瘍内科
Intern Med. 45:971-973, 2006.	Pulmonary relapse of non-Hodgkin's lymphoma in bilateral upper lobes.	Fujimoto Y	血液・腫瘍内科
Scandinavian J of Gastroenterology. 41:212-222, 2006.	Cytogenetics and clinicopathological characterization by fluorescence in situ hybridization on paraffin-embedded tissue section of twenty-six cases with malignant lymphoma of small intestine.	Yoshida N Nomura K Tanuwaki M	血液・腫瘍内科
Proc Natl Acad Sci USA. 103:14907-14012, 2006.	Bim and bad mediate imatinib-induced killing of Bcr /Abl ⁺ leukemia cells, and resistance due to their loss is overcome by a BH3 mimetic.	Kuroda J	血液・腫瘍内科

2 論文発表等の実績

心臓血管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
胸部外科 59(4):276, 2006.	再 OPCAB における剥離法	夜久 均	心臓血管外科
外科 68(4):374-381, 2006.	特集 新たなる発想から Evidence へ 1. オフポンプ冠動脈バイパス術 の長期予後	夜久 均、土井 潔	心臓血管外科
Ann Thorac Surg 81(3):1143-1145, 2006.	Pulmonary artery augmentation using autologous vena cava in right heart bypass operations.	Shinkawa T, Yamagishi M, Shuntoh K, Koushi K, Ogawa M, Yaku H.	心臓血管外科
Ann Thorac Surg 81:339-41, 2006.	Infectious ductal aneurysm after coil embolization in an infant.	Shinkawa T, Yamagishi M, Shuntoh K, Fujiwara K, Watanabe T, Yoshida S.	心臓血管外科
循環制御 27(1):16-21, 2006.	虚血性 MR の病態と手術手技.	夜久 均、土井 潔.	心臓血管外科
胸部外科 59(8):607-613, 2006.	胸骨正中切開下の OPCAB	夜久 均、土井 潔.	心臓血管外科
京都府立医科大学雑誌 115(8):545-551, 2006.	虚血性心筋症に対する外科治療 の最前線 一遅延造影 MRI による 局所心筋バイアピリティー評価 に基づいた左室形成 術の適応と術式選択一.	小川 貢、 土井 潔、夜久 均	心臓血管外科
人工臓器 35(1):177-179, 2006.	生体内組織形成技術 (In Body Tissue Architecture Technology) による生体内で作る 心臓弁 (バイオバルブ) の開発.	林田恭子、黄 海瑛、 神田圭一、夜久 均、 岡本吉弘、根本 泰、 安藤譲二、 中山泰秀.	心臓血管外科

日本外科学会雑誌 107 (6) : 302-304, 2006.	OFF PUMP CABG.	夜久 均、土井 潔.	心臓血管外科
Jpn J Thorac Cardiovasc Surg 54 (?) : 469-471, 2006.	Atrial septal defect repair through limited lateral thoracotomy in children.	Shinkawa T, Yamagishi M, Shuntoh K, Miyazaki T, Hisaoka T, Inoue T, Yaku H.	心臓血管外科
Clinical Engineering 17 (11) : 1229-1236, 2006.	心臓手術の実際 -外科医が語 る術式、臨床工学技士が語る体外 循環法-	土井 潔、黒光弘幸.	心臓血管外科
The Journal of The American Society of Extra-Corporeal Technology 38 : 134-138, 2006.	Choice of hemodynamic support during coronary artery bypass surgery for prevention of stroke.	Y Shimada, H Yaku, F Yamamoto.	心臓血管外科
Circulation Supplement II 114 (18) : II-196, 2006.	Autologous prosthetic heart valved-conduits developed by <i>in</i> <i>vivo</i> tissue-engineering.	Hayashida K, Oie T, Okamoto Y, Ueda H, Tajikawa T, Ohba K, Sakai O, Watanabe T, Kanda K, Yaku H, Nakayama Y.	心臓血管外科
Circulation Supplement II 114 (18) : II-34, 2006.	In vivo tissue-engineered autologous small-caliber vascular grafts "biotubes" : autonomical regeneration to the structural vessel wall after implantation.	Watanabe T, Sakai O, Hayashida K, Okamoto Y, Nemoto Y, Kanda K, Yaku H, Nakayama Y.	心臓血管外科
ASCVS 2006 (The 14 th Annual Meeting of the Asian Society for Cardiovascular Surgery) 2006. June 1-3 ; Osaka	Midterm result of the Ross (Ross-Konno) procedure.	Shuntoh K. Yamagishi M, Shinkawa T, Miyazaki T, Hisaoka T.	心臓血管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism	BRIEF REPORT Function of Estrogen-Related Receptor α in Human Endometrial Cancer	Ai Watanabe, Yoshiyuki Kinoshita, Kenichi Hosokawa, Taisuke Mori, Takeshi Yamaguchi, Hideo Honjo	産婦人科
産婦人科の進歩	PMS/PMDD に関するアンケート調査報告. (第 113 回近畿産科婦人科学会 内分泌・生殖研究部会グループスタディ報告)	田坂慶一、後山尚久、本庄英雄	産婦人科
診療と新薬	経産婦を対象とした SHG00650A (レボノルゲストレル放出型子宮内避妊システム) の 12 ヶ月間装着における有効性、安全性および薬物動態の検討	丸尾猛、本庄英雄、石川睦男	産婦人科
Acta obstetricia et Gynecologica	New ultrasonographic criteria for the prenatal diagnosis of Chiari type 2 malformation	Hidetoshi Fujisawa, Jo Kitawaki, Koichi Iwasa, Hideo Honjo	産婦人科
J Soc Gynecol Investig	Association of two polymorphisms in the peroxisome proliferator-activated receptor-gamma gene with adenomyosis, endometriosis, and leiomyomata in Japanese women.	Kiyomizu M, Kitawaki J, Obayashi H, Ohta M, Koshihara H, Ishihara H, Honjo H.	産婦人科
Am J Reprod Immunol	Synergistic effect of interleukin-6 promoter (IL6 -634C/G) and intercellular adhesion molecule-1 (ICAM-1 469K/E) gene polymorphisms on the risk of endometriosis in Japanese women.	Kitawaki J, Kiyomizu M, Obayashi H, Ohta M, Ishihara H, Hasegawa G, Nakamura N, Yoshikawa T, Honjo H.	産婦人科

<p>エンドメトリオーシ ス研究会会誌</p>	<p>子宮内膜症と IL-6 プロモーター領域遺伝 子多型の関連</p>	<p>清水美代、 北脇 城、 石原広章、 尾林 博、 本庄英雄</p>	<p>産婦人科</p>
<p>Maturitas</p>	<p>Differential effects of progestogens, by type and regimen, on estrogen- metabolizing enzymes in human breast cancer cells.</p>	<p>Xu B, Kitawaki J, Koshihara H, Ishihara H, Kiyomizu M, Teramoto M, Kitaoka Y, Honjo H.</p>	<p>産婦人科</p>
<p>産婦人科の進歩</p>	<p>卵巣チョコレート嚢胞から発生した卵巣 癌 5 例の免疫組織化学的検討</p>	<p>楠木 泉、北脇 城、 清水美代、石原広章、 伊藤良治、笹本香織、 加藤聖子、檜垣仁美、 山本浩之、山本淳子、 山田俊夫、中田好則、 本庄英雄</p>	<p>産婦人科</p>

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Invest Ophthalmol Vis Sci 47(4): 1359- 1367, 2006.	Clusters of corneal epithelial cells reside ectopically in human conjunctival epithelium.	Kawasaki S, Tanioka H, Yamasaki K, Yokoi N, Komuro A, Kinoshita S.	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 47(9):3820- 3827, 2006.	Establishment of a cultivated human conjunctival epithelium as an alternative tissue source for autologous corneal epithelial transplantation.	Tanioka H, Kawasaki S, Yamasaki K, Koizumi N, Nakamura T, Yokoi N, Komuro A, Inatomi T, Kinoshita S.	眼科
Optom Vis Sci 83(11): 797-802, 2006.	The Features of Dry Eye Disease in a Japanese Elderly Population.	Uchino M, Yagi Y, Goto E, Tomita M, Kon T, Saiki M, Matsumoto Y, Uchino U, Yokoi N, Tsubota K.	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 47: 1352-8, 2006.	Unique distribution of thrombospondin-1 in human ocular surface epithelium.	Sekiyama E, Nakamura T, Kawasaki S, Hamuro J, Kinoshita S.	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 47: 909-916: 2006	The use of autologous serum in the development of corneal and oral epithelial equivalents in patients with Stevens Johnson syndrome.	Nakamura T, Sekiyama E, Inatomi T, Sotozono C, Kinoshita S.	眼科
Arch Ophthalmol 124: 1543-1551, 2006.	Autologous serum-derived cultivated oral epithelial transplantation for severe ocular surface disease.	Nakamura T, Inatomi T, Sotozono C, Koizumi N, Yokoi N, Kinoshita S.	眼科

Exp Eye Res 83: 741-6, 2006	Different expression of angiogenesis-related factors between human cultivated corneal and oral epithelial sheets.	Sekiyama E, Nakamura T, Kawasaki S, Sogabe H, Kinoshita S.	眼科
Exp Eye Res 82:371-378, 2006.	Pathological keratinisation in the conjunctival epithelium of Sjogren's syndrome.	Hirai N, Kawasaki S, Tanioka H	眼科
Exp Eye Res 82:293-299, 2006.	Expression and tissue distribution of p63 isoforms in human ocular surface epithelia.	Kawasaki S, Tanioka H, Yamasaki K, Kinoshita S.	眼科
Am J Ophthalmol 142: 757-764, 2006	Ocular surface reconstruction with combination of cultivated autologous oral mucosal epithelial transplantation and penetrating keratoplasty.	Inatomi T, Nakamura T, Kojo M, Koizumi N, Sotozono C, Kinoshita S.	眼科
Am J Ophthalmol 142(6): 917-22, 2006	Functional visual acuity in Stevens-Johnson syndrome	Kaido M, Yamada M, Sotozono C, Kinoshita S, Shimazaki J, Tsubota K	眼科
Am J Ophthalmol 141(6): 1092-1096, 2006.	Histopathology of blepharoptosis induced by prolonged hard contact lens wear.	Watanabe A, Araki B, Noso K, Kakizaki H, Kinoshita S	眼科
Cornea 25 (4):443-447, 2006	Time Course of Angiogenesis and Lymphangiogenesis After Brief Corneal Inflammation.	Maruyama K	眼科
Ophthalmology 113(10): 1765-72, 2006.	Transplantation of autologous serum-derived cultivated corneal epithelial equivalents for the treatment of severe ocular surface disease	Nakamura T, Inatomi T, Sotozono C, Koizumi N, Yokoi N, Kinoshita S.	眼科

Circ Res. 98(5):697-704, 2006.	Endothelial Progenitor Thrombospondin-1 Mediates Diabetes-Induced Delay in Reendothelialization Following Arterial Injury.	Takenaka H, Asai J, Ibusuki K, Mizukami Y, Maruyama K,	眼科
Stem Cells 24(10):2270-8, 2006.	A comparison of neural differentiation and retinal transplantation with bone marrow-derived cells and retinal progenitor cells.	Tomita M, Mori T, Maruyama K, Umezawa A	眼科
Infection and Immunity 74: 1032-1042, 2006	Identification of proteins secreted via the Vibrio parahaemolyticus Type III secretion system 1.	Ono T, Ueta M, Iida T, Honda T.	眼科
Aliment Pharmacol Ther (Suppl) 4:256-65, 2006	Gene expression clusters of a lipopolysaccharide-stimulated pathway in peripheral blood monocytes of Japanese patients with Crohn's disease.	Naito Y, Takagi T, Mizushima K, Ueta M, Kinoshita S, Handa O, Kokura S, Ichikawa H, Yoshida N, Yoshikawa T.	眼科
Proc Natl Acad Sci USA 103: 9554-9559, 2006	Neural conversion of embryonic stem cells by an inductive activity on human amniotic membrane matrix.	Ueno M, Matsumura M, Watanabe K, Nakamura T, Osakada F, Takahashi M, Kinoshita S, Sasai Y.	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 245: 123-134, 2006	Comparison of intact and denuded amniotic membrane as a substrate for cell-suspension culture of human limbal epithelial cells.	Koizumi N	眼科
J Ocul Pharmacol Ther 22: 347-52, 2006	Pharmacokinetic analysis of platelet-activating factor in the tears of guinea pigs with allergic conjunctivitis.	Okumura N, Fukushima A, Igarashi A, Sumi T, Yamagishi T, Ueno H.	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Archives of. Andrology 52:163-168. 2006.	Efficacy of sildenafil for Japanese patients with audio-visual sexual stimulation (AVSS) test by the RigiScan-plus	Soh J Kawauchi A Miki T	泌尿器科
Urology 68 (5) :976-982 2006. 11.	Laparoscopic partial nephrectomy for incidental stage pT2 or worse tumors	Ukimura O	泌尿器科
Clinical Nephrology. 66 (6) :440-446. 2006.	Restless legs syndrome in hemodialysis patients:health-related quality of life and laboratory data analysis	Kawauchi A Mizutani Y Miki T	泌尿器科
The Journal of Urology. 176 (2) :665-671. 2006	Visual analog scale questionnaire to assess quality of life specific to each symptom of the international prostate symptom scale.	Ushijima S Ukimura O Okihara K Mizutani Y Kawauchi A Miki t	泌尿器科
The Journal of Urology. 175 (4) :1311-1319 2006	Real-time transrectal ultrasound guidance during nerve sparing laparoscopic radical prostatectomy : pictorial essay	Ukimura O	泌尿器科
The Journal of Urology. 175 (4) :1304-1310 2006	Real-time transrectal ultrasound guidance during nerve sparing laparoscopic radical prostatectomy : Impact on surgical margins	Ukimura O	泌尿器科
泌尿器外科. 19 (4) :491-496 2006. 4	再燃前立腺癌に対する経口ハーブ療法 (PC-SPE&PC-CALM) の経験	浮村 理 沖原宏治 三木恒治	泌尿器科
日本泌尿器科学会誌 97 (4) :630-635. 2006. 4	Paclitaxel Ifosphamide, Nedaplatin (TIN療法) を用いた難治性精巣腫瘍に対する救済化学療法	野本剛史 水谷陽一 三木恒治	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oral Science International 3巻: 64-71, 2006年11月	Hydrostatic pressure induces cytokines production in human periodontal ligament cells.	山本俊郎	歯科
Journal of Periodontal Research 41: 554-559, 2006年 12月	Cytokine production in human periodontal ligament cells stimulated with <i>Porphyromonas gingivalis</i> .	山本俊郎	歯科
日本歯科保存学雑誌 49巻 : 303? 308, 2006 年4月30日.	uCTを用いたマウス根尖病巣の3次元画像解析と免疫学的検討.	大迫文重	歯科
日本障害者歯科学会雑誌 27巻: 156? 162, 2006年 6月30日.	骨髄移植患者の口腔管理における治療指針.	金村成智	歯科
日本歯科保存学雑誌 49巻 : 755? 761, 2006 年12月31日.	当科における骨髄ならびに腎移植患者に対する口腔管理について.	金村成智	歯科

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
Environ Sci. 13:149-60, 2006.	Toenail arsenic levels among residents in Amami-Oshima Island, Japan.	Masanori Nakagawa	神経内科
Neurogenetics 7(3): 175-183, 2006.	Molecular mechanism of rigid spine with muscular dystrophy type I caused by novel mutations of selenoprotein N. gene.	Masanori Nakagawa	神経内科
Dementia Geriat Cogn Disord 21:162-169, 2006.	Small artery dementia in Japan; radiological differences between CADASIL, leukoaraiosis and Binswanger's disease.	Toshiki Mizuno	神経内科
Biochem Biophys Res Commun. 2006 13;349:162-6.	Decreased alpha-synuclein in cerebrospinal fluid of aged individuals and subjects with Parkinson's disease.	Takahiko Tokuda	神経内科
Amyloid: J Protein Folding Disord 13: 37-41, 2006.	A case of biopsy-proven leptomeningeal amyloidosis and intravenous Ig-responsive polyneuropathy associated with the Ala25Thr transthyretin gene mutation.	Takahiko Tokuda	神経内科
J Clin Neurosci. 13: 39-44, 2006.	Tacrolimus in refractory patients with myasthenia gravis: coadministration and tapering of oral prednisolone.	Takahiko Tokuda	神経内科
Neuroradiology 48:434-437, 2006.	Oculomotor nerve palsy evaluated by diffusion-tensor tractography.	Kensuke Shiga	神経内科
Am J Hypertens 19:403-406, 2006.	Primary intracerebral hemorrhage during asleep period.	Yoshinari Nagakane	神経内科
Acta Psychiatrica Scandinavica. 114:62-5, 2006.	Complex visual hallucination and mirror sign in posterior cortical atrophy.	Tomokatsu Yoshida	神経内科

The Neurologist 12:311-313, 2006.	Anaplastic astrocytoma presenting as reversible posterior leukoencephalopathy syndrome.	Tomokatsu Yoshida	神経内科
J Hum Genet 52:362-269, 2007.	The functional alteration of mutant GFAP depends on the location of the domain: morphological and functional studies using astrocytoma-derived cells	Tomokatsu Yoshida	神経内科
Dement Geriatr Cogn Disord 22:8-14, 2006.	Microbleeds in Alzheimer Disease Are More Related to Cerebral Amyloid Angiopathy than Cerebrovascular Disease.	Yuriko Kudo- Nakata	神経内科
Acta Neuropathologica 111:39-45, 2006.	Autosomal dominant leukodystrophy with axonal spheroids and pigmented glia: clinical and neuropathological characteristics.	Manabu Muranishi	神経内科
認知神経科学. 8(1):61-66, 2006.	WAIS-Rのプロフィールを用いた Mild Cognitive Impairment とアルツハイマー型痴呆の比較.	近藤 正樹	神経内科
臨床神経, 46 巻 7 号: 505-509, 2006.	左上中側頭回から外側後頭回梗塞による失読失書の1例.	栗山 長門	神経内科
末梢神経 17:308-312, 2006.	Charcot-Marie-Tooth 病 1A に対するアスコルビン酸投与の試み.	中川 正法	神経内科
脳と神経 58:709-713, 2006.	病初期に運動性失語を呈した認知症を伴う筋萎縮性側索硬化症の1例.	高安 奈津子	神経内科
第31回京都医学会 集録. 2006.	京都府の地域リハビリテーション推進事業.	武澤 信夫	神経内科
末梢神経 17: 219-222, 2006.	MFN2 遺伝子に R94Q 変異が確認された CMT2A の一例.	山口 達之	神経内科
京都府立医大雑誌 116. 15-21. 2007.	急性期ラクナ梗塞における head-up 試験の検討	笠井 高士	神経内科

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 木下 茂
管理担当者氏名	事務部長 児玉 幸長

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		カルテ庫 各診療科外来・病棟 調剤室 フィルム庫	手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等は、カルテに添付して整理している。 カルテについては、診療情報管理室による保管・管理体制のもと運用しており、うち、通院・入院中のアクティブカルテについては各診療科の外来・病棟において保管している。 また、処方箋は調剤室に保管し、エックス線写真はフィルム庫に保管している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	庶務課		
	高度の医療の提供の実績	医事収納課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課		
	高度の医療の研修の実績	病院管理課		
	閲覧実績	病院管理課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事収納課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院管理課 薬剤部		
	確規 保則 の第 状9 況条 の 2 3 及 び 第 1 1 条 各 号 に 掲 げ る 体 制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		感染対策部
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療安全管理部
	当該病院内に患者から安全管理に係る相談に応じる体制の確保状況	医事収納課		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部		
	安全管理のための委員会の開催の実績	医療安全管理部		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部		

(様式第13)

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院管理課長 土屋 泉
閲覧担当者氏名	総務調整係長 中川 知之
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課総務調整係

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	50.3%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	12,361人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,614人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	689人	
	D：初診の患者の数	35,366人	

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無
所属職員： 専任（ 1 ）名 兼任（ 7 ）名 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故報告・インシデントに係る報告書の管理 ・ ” ” の発生原因の調査・分析 ・ 安全対策の実施状況及び医療事故発生時の対応状況についての調査・指導 ・ 安全管理のための教育・研修 ・ 安全対策の推進 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有) ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況について	(有) ・ 無
指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理のための基本的な考え方 ・ 職員の教育・研修及び啓発について ・ 医療事故発生時の対応 ・ インシデント報告制度について ・ 安全管理のための組織 ・ 患者相談窓口 ・ 閲覧について 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12回
活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理のための指針の策定及び変更に関すること ・ 発生した医療事故・インシデントの調査分析並びに再発防止策の立案及び実施に関すること ・ 安全管理のための教育・研修に関すること ・ その他医療に係る安全対策に関すること 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8回
研修の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故防止について ・ コミュニケーションエラー ・ 重大事態発生時対応のポイント ・ リスクマネジメントについて 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
医療機関内における事故報告等の整備 ((有) ・ 無) その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全のための院内調査ラウンド。 ・ インシデント事例や教訓を掲載した「医療安全管理部レター」を発行し、インシデント事例の共有、注意喚起を行なっている。 ・ インシデント、アクシデント事例を「医療安全管理部ファイル」で供覧し、職員への周知を図っている。 ・ 人工呼吸器のリスク管理のため、チームで院内ラウンドを実施。 	